

# いずもぎき 議会だより

第121号

2023 令和5年10月25日



## 9月定例会

### もくじ

令和4年度決算認定	2
令和4年度主な事業	4
9月定例会	6
決算審査特別委員会	7
7月臨時会	8
一般質問(6人が町政をたず)	9
社会産業常任委員会 視察・調査報告	16
出まえ議会のお知らせ	16
町村議会広報研修会	17
全員協議会	18

まるごとオーナー稲刈り体験

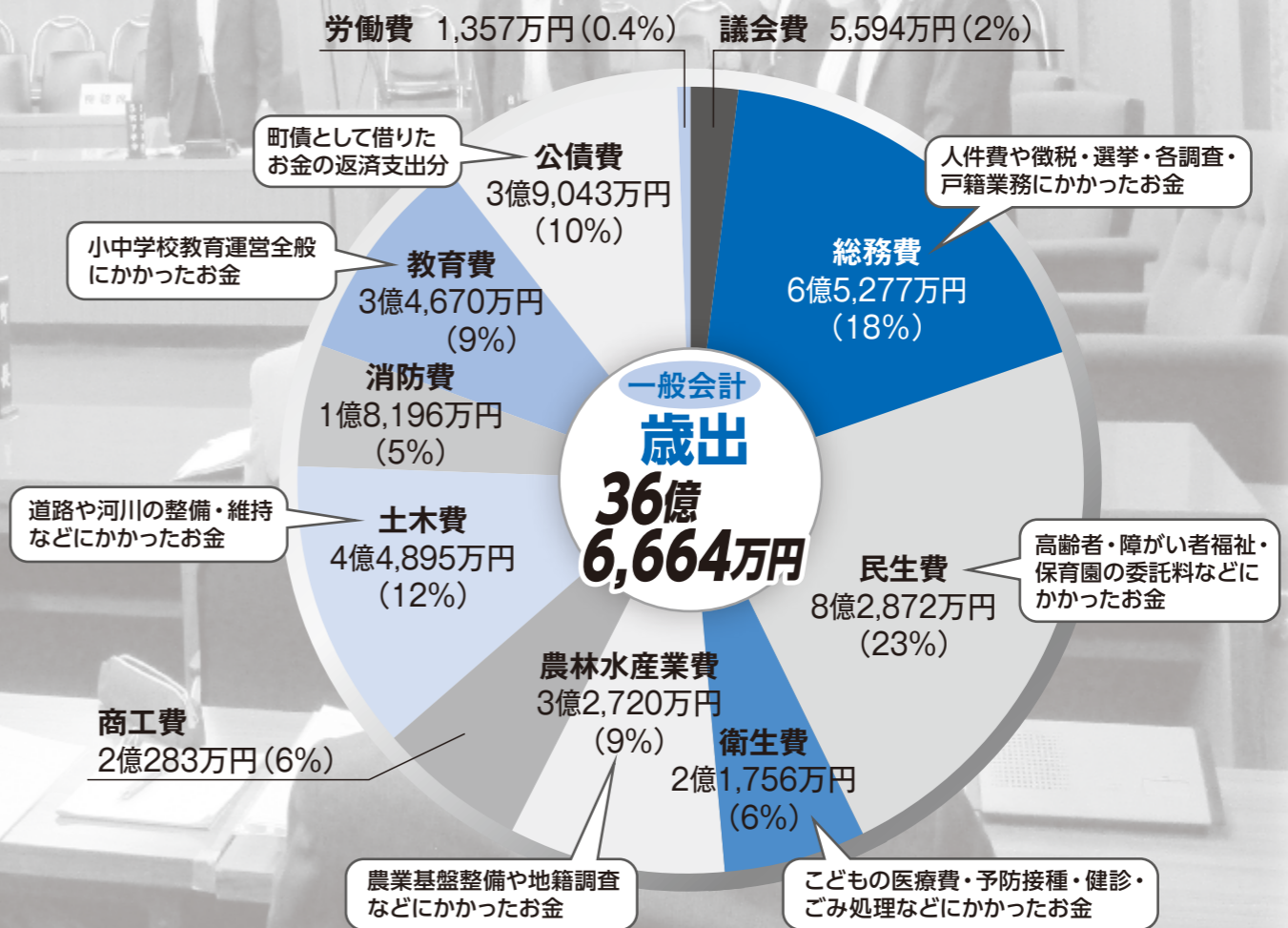
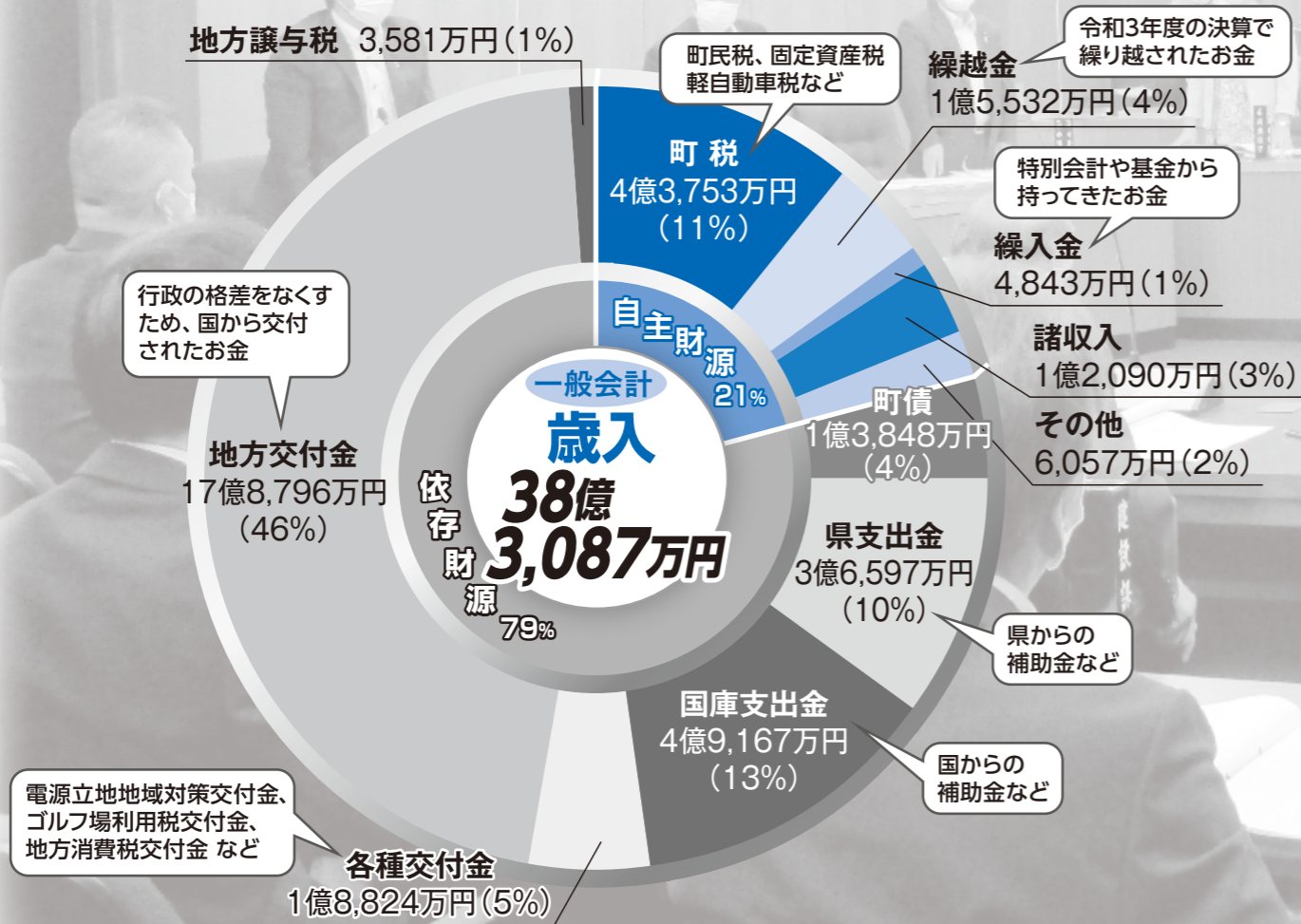
出雲崎町議会  
ホームページ



# 令和4年度決算認定

## 一般会計と8特別会計の決算は

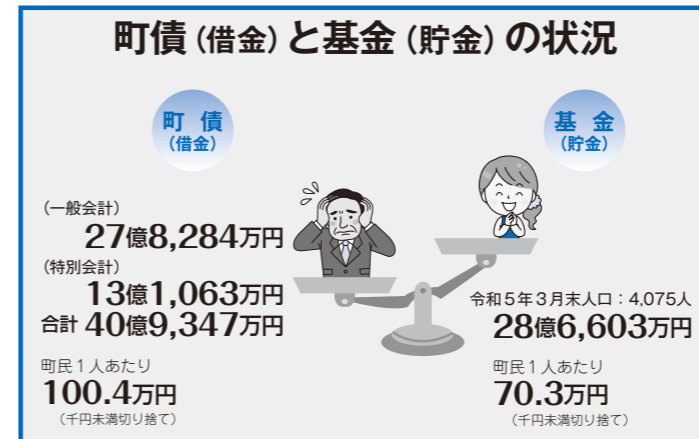
**歳入** 一般会計 38億3,087万円      特別会計 18億9,070万円      **総額** 57億2,157万円 (前年比 1億5,489万円減)  
**歳出** 一般会計 36億6,664万円      特別会計 17億7,322万円      **総額** 54億3,986万円 (前年比 1億8,089万円減)



金額は1万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額と一致しません

### 各会計の決算状況

会計名	決算		差引残高
	歳入	歳出	
一般会計	38億3,087万円	36億6,664万円	1億6,423万円
特別会計	18億9,070万円	17億7,322万円	1億1,748万円
合計	57億2,157万円	54億3,986万円	2億8,171万円



**依存財源とは?**

国や県から入ってくるお金  
 地方交付税、交付金、支出金、町債、譲与税

**自主財源とは?**

町が自主的に収入できるお金  
 町税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

令和4年度決算認定  
 令和4年度9月定例会  
 7月臨時会  
 一般質問  
 社会産業常任委員会視察  
 おまえ議会のお知らせ  
 町報研修会  
 議会サロン  
 全員協議会

令和4年度決算認定  
 令和4年度9月定例会  
 7月臨時会  
 一般質問  
 社会産業常任委員会視察  
 おまえ議会のお知らせ  
 町報研修会  
 議会サロン  
 全員協議会

# 令和4年度 一般会計 主な事業を

# ピックアップ!!

## 生活を守る町民サービスを実施!

～主な事業を紹介～

### 総務課関係

- 町デマンド交通運行費補助金 1,004万円 ……地域住民の移動手段を確保するための運行費補助 (運行便数 1,792便、利用者数2,211人)
- ふるさと出雲崎応援基金積立 1,645万円 ……ふるさと応援の寄附金を財源とした目的基金への積立 (寄附 434件)
- ふるさと納税寄附謝礼 353万円 ……ふるさと納税の寄附者への返礼品
- ★住民税非課税世帯等臨時特別給付金 790万円 ……住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり10万円を支給した経済的支援 (79世帯)
- ★燃料購入費等助成事業交付金 4,366万円 ……燃料等の購入費等に使用できる助成券を支給し、経済的負担の軽減
- ★電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 2,225万円 ……住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり5万円を支給した経済的支援 (445世帯)

### 町民課関係

- 資源ごみ分別回収・処理委託料 2,361万円 ……生活環境の保全と公衆衛生の向上と適正処理
- 一般ごみ収集運搬・処理委託料 3,270万円 ……同上
- ふるさと就職支援商品券発行事業交付金 594万円 ……新規学卒者、Uターン者に対し、商品券を1月1万円交付 (受給者 51人)

### 保健福祉課関係

- 高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業 628万円 ……交通機関の利用が困難な方や、交通手段を持たない高齢者にタクシーバス券を支給 (利用者368人)
- 後期高齢者医療広域連合負担金 5,882万円 ……共通経費・医療給付費負担金
- 子どもの医療費助成事業 1,027万円 ……子どもの医療費の助成 (0歳から高校卒業まで)
- ★新型コロナウイルスワクチン接種対策費 2,339万円 ……予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種の実施
- 定期予防接種委託料 968万円 ……予防接種法に基づく定期接種の実施
- 健康増進事業 939万円 ……18歳以上を対象に実施 (健康相談、健康診査)

### 産業観光課関係

- 町農業機械施設設備事業補助金 117万円 ……農業所得の向上と農地の維持・発展につなげるための機械導入補助 (柿木地区)
- ★町主食用米緊急支援事業補助金 1,167万円 ……感染症や世界情勢の影響を受け、経営が圧迫されている農業者の支援として収入減少分の一部補助
- ★来てみてアピール応援支援金 713万円 ……新型コロナウイルス感染症により集客が減少し経営に影響を受けている来店型店舗への支援
- ★プレミアム付商品券利用事業交付金 8,539万円 ……町民への生活支援と町内事業者の活性化対策として商品券10,000円分を5,000円で2回販売
- 井鼻海水浴場駐車場用地買収費 589万円 ……井鼻海水浴場第1及び第2駐車場の用地を買収し、将来的な固定費の削減
- まち周遊イベントPR業務委託料 445万円 ……テレビ、ラジオ、SNS広告を活用し、まち周遊イベントの周知

★印は新型コロナウイルス対策交付金関連事業

### 建設課関係

- 除雪委託料 1,901万円 ……冬季道路・歩道の除雪 (一斉出動7回、部分出動 4回)
- 町道維持修繕工事 1,093万円 ……町道山谷線道路修繕工事ほか11件
- 町道維持修繕工事 (緊急自然災害防止対策事業分) 3,318万円 ……町道大門団地線道路修繕 (その1) 工事ほか2件
- 道路新設改良舗装工事 8,345万円 ……町道の新設・改良・舗装工事 (7件)
- 米田町営住宅改修工事 769万円 ……米田町営住宅外壁改修工事
- 町新生活スーパー住まい取得リフォーム支援補助金 1,066万円 ……町新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援補助金(11件)
- 大門町営住宅 (第1団地) 除却工事 712万円 ……大門町営住宅 (第1団地) 除却工事 4棟

### 教育課関係

- 通学バス運行業務委託料 2,144万円 ……大型バス2台を配車、小学校児童と12～3月は中学生徒も含め運行
- 良寛記念事業補助金 335万円 ……良寛堂建立100周年記念、第44回全国良寛会出雲崎大会を開催する補助
- 町高校生通学費助成金 186万円 ……高校生保護者の経済的負担軽減を図るため、通学定期券購入の3割補助
- 良寛記念館展示棟屋根改修工事 638万円 ……良寛記念館展示棟屋根改修 (カラーステンレス186㎡)
- 公設学習塾事業費 522万円 ……生徒の学習意欲の高揚と学力向上のための支援

### 子ども未来室関係

- 保育実施委託料 6,947万円 ……小木之城保育園、広域入所保育実施委託料
- 認定こども園施設型給付費等 6,909万円 ……出雲崎町こども園、広域入所認定こども園給付費
- 児童手当 4,229万円 ……児童手当支給 (R4.2～R5.1まで 延3,812人)
- 町幸せを運ぶコウノトリ祝金 970万円 ……出産準備金(30万円)11人、出産祝金(20万円)32人
- ★子育て世帯生活支援特別給付金 75万円 ……子育て世帯への生活支援特別給付金 (ひとり親世帯以外の世帯)

# 決算審査特別委員会

令和4年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し次の意見を付して全会一致で認定されました。

## 総務文教分科会

- ふるさと納税の件数が前年度比、約6割の減少を見た。今後、返礼品の内容やPR方法について十分検討し対策を講じるよう求める。
- 町民の足となる地域公共交通のあり方について、今後、利便性の向上を検討し改善を図るよう望む。
- 公設学習塾は生徒・保護者ともに好評を得ているので、今後も継続的な運営を期待する。
- コロナ禍で縮小した公民館活動の復活を図られるよう求める。

## 社会産業分科会

- 町ふるさと逸品開発の強化により、町の返礼品目を増やし、納税額のアップに努めよう求める。
- 農業法人の早期設立に向けて邁進するよう求める。
- 高齢者福祉タクシー・バス券の利用率が58%と少なく、必要な人がより利用できるような活用を求める。
- 子育て環境は県内トップクラスで効果が出ており、情報発信による今以上の効果を求める。



委員長 仙海 直樹

# 燃料等の価格高騰による町民の経済的負担を支援！

## 可決した補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
令和5年度一般会計(第5号)	5,715万円1千円	36億1,985万円5千円
特別会計		
介護保険事業(第1号)	4,735万円2千円	6億8,235万円2千円
簡易水道事業(第2号)	1,670万円0千円	1億9,511万円5千円

## 一般会計補正予算(第5号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金追加 …… 1,512万円</li> <li>財政調整基金繰入減 …… ▲2,120万円</li> <li>前年度繰越金追加 …… 4,867万円</li> <li>臨時財政対策債減 …… ▲188万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊住居借上げ料 …… 30万円</li> <li>空家等再生活用支援事業補助金追加 …… 100万円</li> <li>燃料購入費等助成事業交付金 …… 2,000万円</li> <li>児童遊園遊具点検業務委託料追加 …… 4万円</li> <li>きりり屋外遊具施設整備計画 実施業務委託料追加 …… 110万円</li> <li>有害鳥獣捕獲の担い手 緊急確保補助事業補助金 …… 7万円</li> <li>天領の里レストラン厨房 空調設備修繕工事 …… 68万円</li> <li>小学校校舎棟空調設備改修工事 設計業務委託料 …… 49万円</li> <li>小中学校給食地場産食材料費追加 …… 37万円</li> <li>中学校施設修繕料追加 …… 39万円</li> </ul>

小学校4階小ホール及び図工室に床置き型エアコン4台を設置する設計業務委託料

地域部活動移行に伴い、休日の音楽室の安全な使用のため、扉・施錠等に改修を加えるもの

陳情	陳情内容	審査結果
陳情第6号	健康保険証の存続を求める陳情	不採択
陳情第7号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の採択を求める陳情	採 択

## 可決された意見書

発委第2号 私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

(令和5年10月4日から3年間)

- おぐろ しげゆき さん (久田)
- ・ 小黒重幸 さん (久田)
- なか の まさかず さん (大門)
- ・ 中野正和 さん (大門)

### 令和5年度9月 補正予算質疑

主なものから抜粋して掲載しています

**バス広告料追加** 19.2万円

小黒議員 子育て応援宣言のデザインバスが走っているが、その広告料の追加か。

こと未来室長 当初、バス予算は6月から11月までの6ヶ月分の契約で予算計上している。今回は12

**地域おこし協力隊活動費 住居借上げ料** 30万円

小黒議員 どのような内容なのか。詳細な説明が欲しい。

総務課長 今年度募集をしていた地域おこし協力隊について、12月1日付けで任用が決まったため、家族帯同のため民間の住宅に住んでいた。町が借上げる4ヶ月分の賃借料である。

### 中学校施設修繕料

50万円

島議員 中学校部活動吹奏楽部の地域移行のため修繕との事だが、具体的にどのような施設修繕がおこなわれるのか。

教育課長 中学校管理棟、教務室の一番奥に音楽室があるが、現在休日の音楽室使用の際は学校職員が学校全体のセキュリティを解除している。今後、地域移行を踏まえ、技術室側の扉から出入りができるように軽量シャッターを設置し、音楽室にかかる部分のみのセキュリティ解除ができるように修繕するもの。



デザインバス

月から3月までの4ヶ月延長分の計上である。

# 7月臨時会

7月臨時会では、権利の放棄など議案3件が上程され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。

**会期** 7月31日（1日間）

## 可決した補正予算

会計	補正額	補正後の予算額
令和5年度一般会計（第4号）	358万4千円	35億6,270万4千円
住宅用地造成事業（第1号）	9万6千円	1,689万6千円

### 一般会計補正予算（第4号）

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度繰越金追加 ..... 1,131万円</li> <li>土地貸付料 ..... 15万円</li> <li>住宅用地造成事業特別会計繰入金減 ..... ▲788万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒラメ養殖場旧直売所除去工事 ..... 130万円</li> <li>防火水槽設置付近家屋調査業務委託料 ..... 180万円</li> <li>施設修繕料（妻入り会館エアコン） ..... 38万円</li> </ul>

### 住宅用地造成事業特別会計（第1号）

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度繰越金追加 ..... 9万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>団地造成工事 ..... 735万円</li> <li>施設修繕料 ..... 30万円</li> <li>一般会計繰出金減 ..... ▲788万円</li> </ul>

### 議案第45号 権利の放棄について

- 放棄する権利** 町有地返還に伴う原状に復して引き渡しを受ける権利
- 債務者** 出雲崎漁業生産組合
- 放棄する金額** 返還する町有地の原状回復に要する費用 950万円
- 理由** 債務者がひらめ養殖施設として使用しなくなったため、無償で貸し付けていた町有地の明け渡しを求めたところ、債務者が無資力の状態にあり、資力の回復が困難で原状に復する見込みがないと認められたため、債務者の原状回復義務を免除するもの。


**1** いしかわ 中たか 石川 豊 議員



**質問項目**  
1. 小・中学校給食費の負担軽減について

🔍 詳細は10ページ

**2** おくろ ひろ やす 小黒博泰 議員



**質問項目**  
1. 出雲崎のこれから

🔍 詳細は11ページ

**3** せんかい なお き 仙海直樹 議員



**質問項目**  
1. 10期目を目指し次期町長選挙に出馬することについて

🔍 詳細は12ページ



## 一般質問 ~町政を問う~

**4** たかはし そく えん 高橋速円 議員



**質問項目**  
1. 出雲崎大祭について

🔍 詳細は13ページ

**5** しま あす か 島明日香 議員



**質問項目**  
1. 多世代交流館施設ざりについて

🔍 詳細は14ページ

**6** たかくわ よし こ 高桑佳子 議員



**質問項目**  
1. 特別支援の理解に関する進めかたについて

🔍 詳細は15ページ

※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

出雲崎町議会  
YouTubeチャンネル

9月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます➡



## 令和5年度7月 補正予算 質疑

第2期  
やまや団地  
工事請負費  
735万円

主なものから抜粋して  
掲載しています

**小黒議員** 木の根や丸太の類い等が宅地の下に埋まっているために撤去をする費用であるが、造成する前に行政でもある程度の把握をしていただけないか。事前の調査が甘いと思う。

**建設課長** 残土捨場をそのまま造成地とすることは、やや考えが甘かったと認識はしている。あらかじめ、部分的な掘削調査は必要であったのではないかと感じていますが、最終的に分譲前には完璧なものとして分譲させていただく。

**宮下議員** 2メートル以上の深さで掘り起こしていき、内容物を取り出し埋め立てても、果たして住宅地として適正なのか。圧密で沈下が起こることもあり得るが、そのようなことが起きた場合は整備に關連することは行政がやるのか。

**建設課長** 間違いない住宅は建てられる土地である。販売前に埋設物があり、残土の埋め立て用地であったということを十分説明した上で、買い求めいただく。購入後については、買い求めていただいた方から対応をしていただく。

**小黒議員** 原状復旧に要する費用が資料

ひらめ養殖場  
旧直売所  
除却工事  
130万円



解体予定の建物

**総務課長** しばらく使っ見込みがないので、基礎のコンクリートを剥いでしまおうと、草刈り等の費用が発生する可能性もある。若干割高になると思うがご理解をいただきたい。

によると基礎も含め、140万円となっている。同時に基礎まで除却した場合は140万円取まるが、今回は上屋だけで、また別で基礎だけ撤去するとなると140万円では取まらないのではないか。



石川 豊 議員

# 保護者負担の給食費は どうなるの？

## 町長 現状維持を考えているが、 臨機応変に対応する

**給食費の負担軽減に  
対する認識は**

石川 小学校は1食230円、中学校では1食260円を食料費として保護者が負担しているが、「子育て支援」の観点から、負担軽減についてどのような認識か伺う。

町長 米と牛乳更にサザエの炊き込みご飯のもとを町は直接負担している。光熱費、食料費、人件費等高騰しているが、そのような負担が多くなっても、町は対応している。給食費の保護者負担については、基本的には無償化ではなく、現状維持したいと考えている。児童生徒の健康を保持しつつ、心身の発達に大きく寄与するようなバランスの取れた給食の提供を重視している。

思い出に残るような内容の充実した給食をこれからも提供していきたい。

**来年度当初予算に  
反映させられるか、  
負担軽減は**

石川 小・中学校とも年間の給食費にかかる日数は、約200日と言われており、年間の保護者負担は10万円弱になる。

私は、完全無償化には賛成しません。導入すれば、自主財源の乏しい当町の財政を圧迫しかねないからである。

しかし、財源の捻出問題は議論の余地として残るが、例えば第2子以下は2分の1補助するとか、あるいは一律に3分の1を補助するなど検討できないか。補正予算を組んでまで、今年度中に対応せよと言っているわけではない。今年度も半期が過ぎようとしていること、また、子育て支援事業だけが、町が取り組まなければならない主要事業の全てではないと考えている。

議員の一人として、子育て



美味しく食べている給食

て支援事業の推進を容認していることから、目玉事業と位置付けている当町であれば、来年度当初予算に少しでも反映させるよう考慮する考えはあるか否か。

### 臨機応変に対応する

町長 仮に学校給食を無償にした場合、約1560万円の支出になるが、一般会計歳入に占める自主財源が約2割といえども、それに

耐えうる財政力はある。金の問題よりも給食内容の充実を考えている。児童生徒らにこれまで以上に喜ばれる内容の提供を指示している。

長い給食の歴史がある。保護者の皆さんから、学校給食、給食費に対するいろいろな考えをしつかりと受け止めながら判断していきたい。随時、臨機応変に保護者の皆さんのお気持ちに応えるべく対応していく。

## 出雲崎のこれから

# 出雲崎のこれから

## 町長 課題も多く、 解決策の問題も多い

町長は最近、特に挨拶のなかで課題が多くあると話されている通り、当町においては少子高齢化、人口減少、農業、漁業などに課題が多くある。

町では、様々な支援策を設けているが、他にはない手厚い子育て支援だけが施策として目立っていると思う。儲かる農業に向けての法人化にも注目はあるが、先が見えない状態であると考えている。

全ての問題を解決するには時間もかかり、財政負担も大きく関わることは理解できるが、一歩一歩前進しなければ、問題解決には至らないと考える。

この先5年、10年後の出雲崎はどのようなものか、以下の3つの課題について、町長の構想を伺う。



小黒 博泰 議員

### ① 空き家、空き地対策について

町長 空き家、空き地の活用を加速する対策で、令和4年度から各種の助成制度を拡充し、これらの施策が空き家の流動化につながっていると感じている。

今後の対応は、行政側としても問題に関与し、民間の活方面も併用しながら、積極的にこの問題の解決に当たらなければならないと考えている。しかし、なかなか厳しい問題もあるが、厳しい問題があるからと言って、怠情にただ待つわけにはいかない、やはり積極果敢に将来を見通した中で問題を少しでも解決していかなければならないと考える。



空き地と人がいない様子

### ② 観光振興について

町長 観光振興については、第6次出雲崎町総合計画の中で中長期の構想を定め、本町の潜在的な資源を有効活用し、新たな観光ニーズに対応し、受入れながら態勢の整備を進め、努めることである。

基本的には、観光とは光を見るということになる。光とは、自然、文化、歴史、食、この光るものを外に発信しながら、訪れた人がその光に触れ、体験して、味わい、幾度も訪れたい町という知名度を高めることが肝要だと思う。

観光は、単に遊び心とか、単においでをいただくことではなく、地域の商業、農業、水産をはじめ、地域の活性化につながることを考え、おもてなしと歴史、文化、自然に触れ、感動に出会える町づくりを目指す。

### ③ 産業振興について

町長 農業法人化も簡単にはできないものではない、この厳しい情勢の中を一歩一歩どういう形で切り抜けるか、全力を傾注しながら農業、漁業者の皆さんからも意識改革をいただきながら、将来に向けて農業、漁業の振興に対して最善を尽くす。

小黒 現在の町の考えている農業法人化は無理だと考える。今まで災害復興基金や、交付金で町財政をカバーしてきたが、これからは、今抱えている課題を一つ一つ解決しつつ、自主財源確保に向けての施策が大変と考える。

小黒 天領の里から妻入りの街並への案内看板などが無い。空き家、空き地対策、歴史、文化、食などトータル的に考えて、観光振興の取組を行っていただきたい。



収穫後の圃場



仙海 直樹 議員

## 10期目の町長選挙は

町長 体力には自信。  
多選は受け流したい。

### 町長選へ

仙海 高齢や多選を理由に勇退されてはどうかとの声を聞くがどのように思うか。

町長 体力、気力とも充実しており、50代、60代、70代の皆さんと伍しても劣らないという自信を持っている。

多選に対する批判は心得ているが、36年間町長を努めさせてもらう中で、常に感謝の気持ちを忘れず、町民の心に寄り添いながら、全力を傾注してきた点からすると、多選批判は受け流したいと考えている。

### 出雲崎の課題は

仙海 町長にとっての出雲崎町の最大の課題は何か。

町長 人口減少、少子化対策、これは喫緊の大きな優先課題に取り上げている。

買物難民、あるいは医療の問題、地域交通問題の他、農業、漁業、商業を合わせた大きな課題を横断的にしっかりと進めていかなければならない。  
まず優先課題というならば、少子化対策なり、そういうものが優先するが、横断的にしっかりと、行政を進めるといことが私は一番大事だと思う。

仙海 私は人口減少、少子化対策、これが一番の課題と感じている。これが解決すれば、その後において、様々な課題の解決につながるのではないのかなというふうに思っている。

### 様々な課題をどう考えるか

仙海 今後、買い物弱者や地域医療、地域公共交通、事業承継に対する対策をどのように講じるか。

町長 買物難民対策は移動販売を導入すべきだと言ってきた。それがいよいよ現実的に10月半ば頃から移動販売が始まる。海岸地区の買い物難民の解消に努める。

地域公共交通の確保はJR越後線の問題、越後交通の運行、あるいは出雲崎タクシーやデマンド交通、この辺をいかに有機的に結びつけ、これらの実態はどうなっているのか検討しながら、対応していく。

越後線の存続には、全力を挙げていく。  
地域医療の問題は関係機関の皆さんと、いかにこれからの出雲崎町における医師の確保がどうあるべきか助言をいただきながら、今

から行動していかなければならないというふうに考えている。  
遠隔診療についてはいさかの疑問を持つが、一つの手段として、今から考えていかなければならないと思う。

後継者難に対する課題は、商工会が事業者に寄り添って、伴走的な支援を進めていかなければならないと思う。創業、承継に対する補助制度を新年度は考えたい。



高橋 速門 議員

## 6月の出雲崎大祭は出雲崎町民みんなの祭りだと、はっきり言明せよ

町長 町を代表する伝統文化として無形文化財に指定したい

### 大祭をどう維持し元気づけるか

高橋 縮小型社会で大祭を今後どうするのか。負担を軽くし元気をさせる智慧が必要だ。大祭を町の祭りとしてみんなが認識する必要がある。思い切った施策を伺う。

### 無形文化財として指定すれば町が関与できる

町長 政教分離のなか、良寛堂内は神事、町内の神輿渡御は無形文化財として指定することで町が関与する、ということしか解決の方法はない。



今年6月17日の大祭 賑わい復活！

## 年内に維持存続の方向付け、できるか？

町長 善は急げ！ 直ちに対応し、指示する！

### 問題は財政支援だ関係集落の負担軽減の方向性打ち出せるか

高橋 いま、大祭に関して関係集落は大変な負担で難渋している。文化財に係わる条例には財政支援が明記されている。今年中にある程度の方向付けしないと来年沈没しかねない。  
来年早々町長選挙があるが、それに左右されない行政の一貫性を示してほしい。

### 結論は、善は急げ 全力で対応する

町長 早急に直ちに対応し、指示しながら全力でやる。



島 明日香 議員

# きらりは多世代交流館施設

## 町長 多世代が集い 子育て見守る施設へ

**町長** 多世代交流とは、世代を超えた幅広い交流を通しながら、子育て世代や高齢者世代の孤独を解消しつつ、お互いの助け合いや譲り合いのなかで共生をするものと考えている。

**現状、子育て世代に偏っている**

**町長** 転入してきた家族やこれから親になる方々の孤立化が問題視されていることから、「きらり」で多世代の集いの場を提供していることも事実である。

**町長の考える「多世代交流」とは**

**島** 条例のなかで「きらり」は、地域住民が相互にふれあうことのできる交流の場として、多世代交流型子育て拠点を構築し、地域福祉の向上を図るために機会と場所を提供するために設置する。そのような施設になっていると思うか。

**多世代で子育てを見守る施設へ**

**町長** 多世代交流とは、世代を超えた幅広い交流を通しながら、子育て世代や高齢者世代の孤独を解消しつつ、お互いの助け合いや譲り合いのなかで共生をするものと考えている。



「きらり」での親子の様子

**「きらり」の今後の展望は**

**島** 一概に、多世代で子育てを支えることは簡単なことではないが、多世代交流館と名付けてあるのであれば、その機能を十二分に発揮し、今後の事業展開に期待したい。

**将来展望の第一歩**

**町長** 今年度は基礎工事、来年度に遊具関係等の詳細設計を進める2カ年計画である。ブランコなどの一般的な遊具を揃えるのではなく、限られた用地をいかに有効に活用すべきか、担当者と検討している。専門業者の意見を聞くだけでなく、「きらり」を利用している方や関係者の具体的な意見を聴取して練り上げていく。

**多世代が楽しめる新たな屋外施設とは**

**島** 工事が開始された斜面は、各SNSでも「子育て世代だけでなく多世代が楽しめる場所を計画中」とあったが、どのような内容か。

**町民の生活に反映される確かなものに**



「多世代交流館施設きらり」の外観

工事が始まった屋外施設建設予定地

# 特別支援教育理解の進めかたは

## 教育長 県内屈指の体制の継続・充実に 全力を尽くす



高桑 佳子 議員

**高桑** 障がいのあるなしに関わらず、みんなが一緒に教育を受けて社会参加を目指すインクルーシブ教育の構築が進んできている。

**出雲崎町の教育環境は全国でもトップクラスと思う。子ども一人あたり286万円のトータル支援事業だけでなく、長年、関係機関・職員が地道に積み上げて構築されてきた支援体制こそ、出雲崎町が誇れるのではないか。**

**しかし、インクルーシブな共生社会実現のために障壁となるのは、社会や地域の理解が追いついていないことと思う。**

**他に先んじてこれを実現するために、当町は周囲の理解をどうすすめていくか。**

**出雲崎町の現在の支援と今後の計画は**

**高桑** 出雲崎町で現在行なわれている特別支援と今後の計画について伺う。

**幼児期から継続した支援体制を整える**

**教育長** 障がいのあるなしにかかわらず社会参加、社会貢献ができる共生社会の実現に向けて、障がいのある子どもたちが通常の学級で共に学ぶインクルーシブ教育を着実に進めていく必要がある。現状について3点と今後の計画を説明する。

- 1、保護者を含めた関係者が共通理解を深める事ができるように、早期からの教育相談、発達支援ができるようにしている。
- 2、年3回、教育支援委員会を設け、教育的ニーズと必要な支援について合意形成を行なう県内屈指の体制を整えている。
- 3、就学後、特別支援コーディネーターを中心に学校全体で子に応じた対応ができる校内体制を整えるようにしている。

**出雲崎高校との連携は**

**高桑** 特色ある高校として頑張っている出雲崎高校とどのように連携を図っていくか。

**先生方のリーダーシップと生徒の主体性に期待する**

**教育長** 町と結んでいる包括連携協定を活かし、相互交流、連携を着実に実践していきたい。イベント等で地域と関わり合うことで相互理解を深めたい。

**共生社会実現のための条例制定を考えられないか**

**高桑** 他の自治体では、「人権を尊重し多様性を認め合うまちを実現する条例」等、インクルーシブ社会実現のための条例制定の動きが加速している。地域住民の理解を深め、意識してもらうために、当町でも考えられないか。

**条例制定は考えていないが他の手段で全力を尽くす**

**教育長** 条例制定をする考えはないが、特別支援コーディネーターの定数を増やして働きかけ、県内屈指の体制を継続・発展させることに全力を尽くす。

**一口メモ**

**インクルーシブとは**  
「全てを包括すること。障がいのある無や性別、性的マイノリティ、人種など、様々な違いを認め合いお互いの人権と尊厳を大切に生きる社会をインクルーシブ社会（共生社会）」という。国はその実現のため学校教育に於いて「インクルーシブ教育システム」の構築を目指すとしている。



## 社会産業常任委員会 視察・調査報告

8月25日に、出雲崎町における持続可能な農業について、産業観光課、農業委員会、農地利用最適化推進委員会と意見交換会を開催した。産業観光課から、農業法人の設立構想、作業受託協議会の取り組み、園芸協議会の取り組みについて説明があった。

- ① 具体的な取り組みとしては、農業者へ法人の概要を説明し、賛同者を交え、具体的な法人の姿をつくることにより、代表者やモデル地区を選定する。
- ② 国の事業である「中山間地農業ルネッサンス推進事業」を活用し、3年かけて冬季品目の確立と作業受託体制を整備する。
- ③ 法人化推進員として令和5年4月から専門職員を採用し、地域農業者の助けを借りながら地域おこし協力隊と事業に取り組み、法人設立をサポートする。
- ④ 作業受託事業と園芸受託事業については、令和8年度から業務を開始できるよう進める。ドローンや草刈り機の選定や研修会を開催したり、園芸品目の選定や試験栽培等を実施する。また、会場を提供いただける協力者を募集していく。

出席者の意見として、  
 ・町作業受託協議会及び町園芸協議会に対して、国の交付金ほどの程度あるのか。  
 ・事前の意向調査の対象者は、農地が5〜10ヘクタール以上の農業者12名とのことだが、現実的に困っているのは1ヘクタール以下の農業者だと考えるので、意見を聞き、法人設立を早急に進める必要がある。  
 ・儲かる農業の取り組みは大事だが、貸し出す側の取り組みも考える必要がある。  
 ・町の持続可能な農業について話し合えるよう、今後も意見交換会を開催してほしい。  
 など活発な意見が飛び交い、有意義な会となった。今後も、農業の諸問題や不安等を共有し、より良い町の農業が持続していくよう努めたい。

委員長 中野勝正



## 町村議会議会広報研修会に参加

去る9月27日、日経ホールにおいて議会議報特別委員会の委員5名事務局1名総勢6名で、全国町村議会議長会主催の広報研修会に参加してきました。

### 広報スキルアップを図る

当日は、北海道から福井県に至る、約500名を超える町村広報担当職員で会場は埋め尽くされました。広報に関連する3名の専門家が順次、講演を行い今後の議会報づくりにヒントを頂くことができて参考になりました。

最初の講演は硬い話でしたが、弁護士・玉置菜々子氏は、主に著作権、肖像権を中心に話され、プライバシー権の侵害にならないよう、広報で使用するときは、契約書などを交わすのかどうか注意して進めることが大切な事だと強調されていました。

次に登壇された方は、メディアアプランナーの白木一誠氏でした。講師が言うには、議会報を作るにあたり、企業と行政の「必要とされる役割とサービス目的の違い」をしつかりと先ずは認識すべきですと。誰のために作るのですか？ サービスの目

的は何ですか？ 永続性の中身は？ 其々、地域住民のためであり居住への安心感を持つてもらうことが目的であり、子孫繁栄・定住化につなげるようにしなければなりません。そのためには、住民ニーズをしっかり捉え、住民が「見たい知りたい」と思う心理を心地よく刺激するような企画編集を考えることである。いつも地元ファーストなセンスを感じるような、住民みんなが閲覧しやすい議会報を目指して、企画力・編集力・デザイン力が磨くべき3つの基本であると結んでいました。

最後に登壇された方は、磨くべき3つの基本の一つであるデザイン力のエキスパート平本久美子氏である。チラシ等のデザインで、高度な技術的講演でしたが、なるほどと感じたのは、誰に向けて作成するのか、デザインする前にターゲットを決めることが大事であり、そのターゲットはどう絞るのかなどに講演時間を割いていました。

ターゲットが明確だと、書くべきこと・デザイン・チラシの配布方法などが決めやすくなるためだそうです。プロから見た目では、何を載せるか迷ったら、「ターゲット」が「ゴール」するために必要な情報をえらぶ、ターゲットの興味をひいてゴールまで導くようにする。

## 11月16日(木)、17日(金) 2回の開催

「顔が見える議会」を目指して！  
**出まえ議会**を開催します。

出まえ議会は、議員が地域に出向いて皆さまと意見交換を行います。素朴な質問から率直な意見まで、議会に対する要望やご意見など町民の皆さまの意見をお聞かせください。

お近くの会場にぜひお越しください。

開催日	会場	開場時刻	担当委員
11月16日(木)	大釜谷集落開発センター	午後7時	総務文教常任委員
11月17日(金)	上中条集落開発センター	午後7時	社会産業常任委員

総務文教常任委員	仙海直樹	石川 豊	宮下孝幸	高桑佳子	三輪 正
社会産業常任委員	中野勝正	島 明日香	高橋速円	加藤修三	小黑博泰

## 議会サロン今後の予定

開催日	時間	場所	担当議員
11月25日(土)	午前10時 ~正午	ホッと情報館 陽だまり	宮下 孝幸 高桑 佳子
1月27日(土)		妻入り会館	高橋 速円 加藤 修三

※ 12月の議会サロンは12月定例会があるため、開催しません。

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。



# 全員協議会 7〜9月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

## 出雲崎大祭

**高橋議員** 出雲崎大祭は、にぎわい創出に寄与したのか。また、行政として各課で知恵を絞るなりながら今まで同様またそれ以上の祭りへの支援はあるのか。

**産業観光課長** 神輿の担ぎ手が少なかったこと、他市のお祭りと重なり露店数も若干少なかったこともあり、にぎわいが少なく感じた要因ではあるが、4年



出雲崎大祭こども神輿

## 防火水槽設置工事に伴う 家屋調査

**町長** 町として、観光協会、商工会等を中心しながら、大祭をバックアップしていく体制を整える。

**総務課長** 川西地区と船橋地区に設置を予定している。川西児童遊園の奥に工事車両が出入りすることから、事前に家屋調査をしてほしいと町民から要望があったため、町としても必要性を感じ、隣接する建物2軒分の調査を決定した。本来、当初予算計上前に隣接者にお話すべき業務を怠っていたことを反省している。

## 出雲崎駅活用

**小黒議員** JR東日本新潟支社が、新潟県内の無人駅を地域活性化の拠点として活用する事業者を募集している。出雲崎高校もあり越後線は大事な路線になつてきている。当町も企業とコラボして借り受け、新しいコミュニティ拠点にしたり、姉妹都市の柳津町を参考に、越後線を使つて出雲崎に来てもらえるよう駅を活性化させる考えはあるか。



出雲崎駅待合室

## ふねくじ納税について

**総務課長** 地方鉄道の路線の維持活性化に向け、越後線では、沿線自治体が集まり活性化分科会が立ち上がったところである。駅舎を含め路線全体について機能の維持・活性化に向けた取り組みを考えていく。また、駅舎の中には自動券売機があり使用に制約があったり、賃借料も高額であったため、町単独で駅舎を活用することが難しい。他自治体と足並みを揃えて検討していきたい。

**高橋議員** 当町のふるさと納税には、7項目の選択肢が設けられているが、その中の「町長が特に定める事業」の基準はどのようなになっているのか。

**総務課長** 毎年度の予算編成の際に事業の財源内訳等考慮しながら、その新年度に向けて町の主要な施策の事業に充当させていく。令和4年度にご寄付をいただいたうち、町長が特に定めた

## 令和5年度燃料購入費等 助成事業の実施

**総務課長** 11月から2月までの4か月間の使用期限で、前同様の事業実施となる。

## 議会のページ

(主なもの)  
(令和5年8月〜10月)

- 8・4 町村議会議員研修会(前期)
- 10 議会運営委員会
- 22 第6回全員協議会  
↓詳細はp18〜19
- 25 社会産業常任委員会  
↓詳細はp16
- 26 議会サロン(陽だまり)
- 31 議会運営委員会
- 9・14 9月定例会初日  
↓詳細はp6
- 15 議会特別委員会  
社会産業常任委員会  
総務文教常任委員会
- 19 9月定例会一般質問  
↓詳細はp9〜15
- 20 決算審査特別委員会  
↓詳細はp7
- 22 議会運営委員会  
9月定例会最終日  
↓詳細はp6
- 27〜28 令和5年度町村議会広報  
研修会(東京都)
- 29 第44回町村議会広報研修会  
(新潟市)
- 10・3 議会特別委員会
- 10 議会特別委員会
- 11 議会運営委員会
- 13 町村議会議員研修会(後期)
- 16 第8回全員協議会
- 17 議会特別委員会
- 20 社会産業常任委員会  
議会サロン(妻入り会館)

出雲崎町 やまや団地(第2期) 未来へつなぐ子育て応援宣言のまち

町営 宅地分譲

令和5年9月1日(申込受付)

4.2万円

1区画92〜98坪程度(全9区画)

出雲崎町建設課 ☎0258-78-2296(直)

〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川内140 https://www.town.izumozaki.niigata.jp

分譲PR看板

**小黒議員** 町から業者への支払い方法や期限等はどのようになっているのか。経営のやりくりで支障がないようにしてほしい。

**総務課長** 昨年度は月2回(中間と月末)の締切りでまとめて支払いをしていた。現金払いでの販売をされている方には歯痒い部分もあると思うが、今回も同様をお願いしたい。

## やまや団地(第2期) 分譲予定

**建設課長** 石井町住宅とひまわりハウスの入居者に分譲地購入の問い合わせをしたところ、2

## 地域おこし協力隊の任用

**総務課長** 今年度の募集のコンセプトは、町の万事屋として活動していただくこと。具体的には、移住相談対応、空き家の利活用、ふるさと納税のPR、地域の各種団体のサポート等、行政サービスを補完・補強する活動を担っていただく。5月2日から31日まで募集したところ2人の応募があり、面接を行い、長野県下諏訪町出身の25歳、北谷美穂さんに決定した。任用期間は、12月1日から会計年度任用職員として最長3年まで延長可能。住居は、大門の民間住宅を町が借り上げ、そこに家族3人で住んでいただく。光熱水費は本人負担、公用車等必要物品は町が用意する。

**仙海議員** これまで何度か議題になったように、町の課題一つのことには特化して募集をかけ、

## 休憩所心月輪 指定管理者の募集

**副町長** 活動拠点は、役場ではなく海岸か駅前の公共施設に常駐していただく予定。行政経験がある方であると推察されるため、自ら現地に出て活動していただきたいと考えている。ミツシオンとしてどういうことができるか、今後も本人と相談して町の大切な人口増につながっている状況である。

**産業観光課長** 現在の指定管理者は、株式会社イドムで、令和6年3月31日で指定期間が終了する。主な経営の取組としては、お食事処夕日庵、ふれあい食堂、



ふれあい食堂の食事

**産業観光課長** 心月輪については、良寛記念館の休館日と合わせている。運営側の人数も考慮しながら、定休日の考え方も内部で検討していく。

## 出

雲崎に生まれ育ち  
まがりなりににも商売  
を継続させて頂いているこ  
とに、町の皆様にまず感謝  
申し上げたいと思います。  
そんな中この七月に父が死  
亡して家を支えていた大事  
な柱がなくなり心もとない  
日が続いています。ボ  
ヤットもしてはいますが毎日  
毎日仕事に追われて日々を  
やりくりしながら父の教え  
だけはしっかりと胸に刻み

家を支えていくことに精一  
杯過ぎている今日この頃  
の中で、コロナの終息を感  
じつつ日ごとにお客様の笑  
顔が戻りつつある中、その  
笑顔を支えとしながら出雲  
崎が以前よりも増して賑や  
かになればと考えています。  
商売をさせてもらって  
る以上、なにかと出雲崎に  
貢献できるように身構えて  
いるつもりです。今後共よ  
ろしくお願い致します。



## みんなの声

### 老舗の菓子店

尼瀬

お ぐる じゅん  
小 黒 淳 さん



まだ残暑厳しい9月17日、梅  
オーナーの方たちによる稲刈り  
が、勝見の田んぼで行なわれま  
した。  
お子さんも多く、総勢58名の  
素晴らしい参加率。まっ青な海  
の見える高台で稲を刈り、まる  
けて、はざ掛けをし、慣れない  
作業ですが一生懸命に汗を流し  
ていました。  
終了後のお昼は中央公民館で  
海の幸を堪能していただきまし  
た。参加された方からは、「近  
いうちに家族でまた来ます。見  
所はどこですか。」などと聞か  
れて大変楽しんでいただけた様  
子でした。

企画側の担当職員も一生懸命  
動いていましたが、皆さんに満  
足いただけて嬉しそうです。  
こうしたイベントの一つひとつ  
が、地道に交流人口増加に繋  
がっていくのだと、あらためて  
思いました。

(高桑佳子)



## 表紙の小話

### 編 集 後 記

今年の夏の猛暑もようやく影  
を潜め、スポーツの秋・芸術の  
秋など「○○の秋」と言われる  
ようになり、活動しやすい季節  
を迎えましたが、皆さんはどん  
な秋がお好みでしょうか。

9月定例議会において、令和  
4年度決算認定も終わり、ひと  
段落しています。硬いお話で大  
変恐縮ですが、少し決算認定に  
ついてご説明いたします。

議長を除く9名の議員が「総  
務文教分科会」と「社会産業分  
科会」に分かれて令和4年度の  
一般会計及び八つの特別会計の  
歳入（収入）歳出（支出）が適  
正か否かを審査いたします。

適正と判断すれば、そのこと  
が令和4年度決算認定をしたと  
言えます。

3月定例議会での新年度当初  
予算案の審議と併せ、議会とし  
てのとても重要な仕事でありま  
す。

皆さんも「議会だより」でそ  
の内容に関心を持って頂ければ  
幸いです。

(石川 豊)

#### 議会報特別委員会

委員長 石川 豊  
副委員長 高桑 佳子  
委員 仙海 直樹  
委員 小黒 博泰  
委員 島明日香